

地域経済

伊藤光学工業

色弱者の見分けにくさ理解

模擬フィルターに新製品

投P、D型 精密な確認が可能



新たにP型・D型を用意した個別型色弱模擬フィルター

総合光学製品メーカーの伊藤光学工業（本社蒲郡市宮成町3の19、伊藤寛社長、電話0533・69・3311）は、健常な色覚者が色弱者の色の見分けにくさを疑似体験できる「個別型の色弱模擬フィルター」を製品化した。同社従来製品に比べ、色の見分けにくさをより精密に確認できるように改良したのが特徴。眼科医などを中心に販売する。

（蒲郡・小島圭司）

日本人男性の20人に1人を確認することで色弱人、女性では500人に1人に配慮したカラーユニバーサルデザイン（CUI）の常があるといわれる。製品作りにつながる。同社では眼鏡型やルビー型を、印刷会社や各種メーカー、官公庁などに販売してきたが、眼科医からの意見も反映させ、より厳密に色覚異常の程度を確認できる「P型強度」と「D型強度」の個別型色弱模擬フィルターを新たに開発。色覚異常は錐体細胞の欠損などによって生じるが、細胞の欠損具合で色の認識程度は異なる。P型とD型のフィルターを用意することで、色覚異常の程度をより正確に確認できるように改善。2種類のフィルターを組み合わせて使うことで厳密な配色チェックが可能になる。同社では年間2000セット（400個）の販売を見込んでいる。

テキパキ作業こなす

大成塾 豊橋で「腕比べ」大会

【豊橋】塾生らが実技修行の成果などを披



福岡の各塾に在籍

色弱模擬フィルターは経産省の産学連携プロジェクトの一環で、豊橋技術科学大学教授の中内茂樹氏らと協力して開発。07年4月に「眼鏡型」の色弱模擬フィルターを、08年5

ブランド化へ

蒲郡市漁業振興協議会 メヒカリをミカンや三河の特産物となつて、地域の特産物となつて、河木綿と並ぶ新たな地域ブランドに育てるため、のPRに本腰を入れ始め、蒲郡メヒカリの地域団体た。メヒカリを広めるため、商標登録を目指した活動のPR用ポスターやグッズなどに使用するロゴを本格的に活用している。蒲やキャラクターを公募し、地域の共通食材を活用し、11年度を目標に「蒲」を用いた独自の創作料理で

業況DI 8.1ポイント上昇

7月9日 西三河の小規模製造業

【岡崎】日本政策金融公庫岡崎支店（峰谷融公庫岡崎支店）がまとめた、西三河地区の自動車関連など小規模製造業の業況調査によると、業況判断指数改善への道のりは遠く、下回った。

業況DIは対前期比8.1ポイント上昇し、マイナナス62.7を下回る結果となった。採算DIは、同4.9ポイント上昇したものの、全国のマイナス56.7、東海地区のマイナス45.1を大きく下回った。

10～12月期のDI予測は全国、東海地区の水準を下回る見通しで、業況判断DIはマイナス72.4、売上DIはマイナス70.5、採算DIはマイナス69.2の見通し。

三重支社 津市羽所町536
オーシャンビル
059(228)2545
FAX 059(225)6777

四日市支局 四日市市鷺ノ森
2-8-3 メゾン広瀬2B
059(354)6116

●浜松支局
浜松市中区塩町98番地
メゾンそれいゆ201号
053(453)2488
FAX 053(452)6414